

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら横浜吉野町教室			
○保護者評価実施期間	2025年9月4日 ~ 2025年10月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数)	63
○従業者評価実施期間	2025年9月4日 ~ 2025年10月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室内の清潔さ、環境整備	毎日の清掃・消毒の実施 余計な物を置かない、家具の配置を工夫するなど	継続して清掃の実施。 不定期で大掃除等普段清掃が行き届かない所の清掃を行う
2	プログラム内容の豊富さ	5領域に関連した内容で、何を目的としているか明確になっている。 曜日で被つてしまわないように、話し合いを行っている。 こどもの特性に合わせたプログラムの立案をしている。	好評だったイベントは再度実施し、不評だったものはやり方を考えなおす。 マンネリ化しないよう、職員間でのアイデア共有。以前行った内容の応用等の実施。
3	学習やプログラム等、児童の課題に応じたアプローチ	それぞれの専門的職種から見たアプローチを意見交流する場がある。 職員間で児童の習熟度の共有を行っている。	継続して習熟度の共有を行う。 児童の興味関心・発達段階に合わせた教材の用意。 意見交流する場を設け、課題アプローチへのフィードバックを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり	相互的な情報のやり取りや共有が足りていない。	参加できる地域行事への参加。地域との情報共有等密な関わり合い
2	支援の質の向上	常勤・非常勤合わせて知識や技術の習得のための研修機会の少なさ。	児童の発達段階の理解、支援の技術等の質向上の研修実施。 児童の課題の共有を行う。 職員同士での声掛け等を行い、風通しの良い現場を作る
3	情報伝達	口頭での伝達のみで確認漏れが発生することがある。	口頭ではなく書面で伝達できるようにする。 変更点などがあったらすぐに全員に周知するか、情報共有の場を使って記録を残すようにする。 ミーティングをうまく活用し、参加しない非常勤にも情報共有をお願いする。